

指定文化財等台帳（国指定文化財）

名称	けんぼんちやくしよくたいままだら 絹本着色當麻曼荼羅図	員数	1幅	
分類（種別）	重要文化財（絵画）	指定番号	絵第3号	
指定等年月日	大正12年3月28日	時代	鎌倉時代	
構造・形式等	當麻曼荼羅、一名觀經曼荼羅、縦137.5cm、横123.5cm 文政2年（1819）浄蓮寺鑑誉の裏書あり			
概要	<p>奈良時代、中将姫が感得し、蓮糸を用いて一晩で織ったと伝えられる織成の當麻曼荼羅の写し（原本：国宝 綴織當麻曼荼羅図〔奈良県當麻寺所蔵〕）。寸法から考えると、この當麻曼荼羅は、証空上人（1177～1247）が実相房と謀って模写したと伝えられる「四分の一曼荼羅」のひとつと推定される。</p> <p>金泥を塗り、輪郭に朱線を用いる通常の手法のほか、金箔を張り付ける截金装飾は用いていない。金泥又は彩色文様とし、天衣には胡粉ぼかしを用いて細かな点線で描かれていることが特色で、彩色は精緻を極めている。</p>			
所在地	大仙市角間川町字東本町 地内（大曲地域）		標柱関連情報	
所有者	浄蓮寺		標柱の有無	あり <u>なし</u>
所有者の住所			材質	石柱 木柱
管理責任者				その他（ ）
管理責任者の住所			建立者	
備考			建立年月日	
			※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと	